

令和 7 年度 社会福祉法人与謝郡福祉会 事業報告書

令和 7 年度は、持続可能な経営に向けた抜本的な財政立て直しと、法人運営の根幹であるコンプライアンスの再徹底という大きな課題に直面し、組織の在り方を根本から見つめ直す重要な一年となりました。この難局に対し、「生産性の向上」と「組織体制の強化」を重点課題に掲げ、法人一丸となって確かな基盤づくりを進めました。

組織体制の強化において、本年度私たちが最も重く受け止めたのは訪問介護員による不祥事です。事態を厳粛に受け止め、再発防止策および改善計画を策定いたしました。また、法令遵守委員会を開催し、客観的な視点から本事案の振り返りを行うとともに、組織風土の改善に向けた法人の方針を共有いたしました。この方針のもと、現場においても説明会や勉強会を重ねており、失われた信頼を回復し二度と同様の事態を起こさぬよう、組織全体で再発防止に着実に取り組み、高い倫理観の醸成と風土改善に取り組んでまいります。

こうした組織風土の再構築と並行して、今後の持続可能な運営を見据えた財政状況の改善にも着手しました。物価高騰や在宅サービスの稼働低迷により厳しい収支状況が続く中、徹底した予算管理を行いました。さらに、限られた人員で質の高いケアを維持しつつ収支を改善させるため、一部在宅サービスの段階的な縮小・休止といった事業再編を決断し、経営改善に向けた足場を固めつつあります。

財政再建を進める一方で、現場を支える労働環境の改善も急務でした。現在、当法人では長年現場を支えてきた多くのベテラン職員が最前線で活躍し、後進の育成にも大きく貢献しています。こうした職員も含めて誰もが少しでも長く、安心して働き続けられる環境を構築するため、見守り機器等の I C T の全施設への導入を完了し、数年がかりで進めてきた身体的な負担の軽減が大きく前進しました。さらに、情報共有の仕組みを統合し事務作業の標準化を進めることで、業務負担軽減と生産性の向上を図っています。あわせて、特定技能外国人材の継続的な受け入れやスポットワーカーを活用した多様な働き方の検証、専門性を適正に評価する資格手当の拡充など、モチベーション向上に繋がる人事制度の再構築を進めました。

過酷な状況下でも日々のサービスを安全に維持できたのは、現場で踏ん張る職員の努力と支え合いの賜物です。これからも理念及び基本方針に基づき、地域から信頼され選ばれる法人としてのブランド価値回復と、強固な経営基盤の確立に向け、不断の努力を続けてまいります。